

## フェノール

別名:石炭酸

C<sub>6</sub>H<sub>5</sub>OH

劇物:(フェノール)

(性状)無色又は白色の結晶性の塊で特有のにおいがある。空气中で容易に紅色に変化する。固体は湿気を吸収して潮解する。融点40.95、引火点79.4、爆発範囲(下限)1.8%。エタノールに溶ける。水にやや溶けやすい(20℃で水100mlに8.5g溶ける)。

### 措置

#### 漏えい時

風下の人を退避させる。漏えいした場所の周辺にはロープを張るなどして人の立入りを禁止する。付近の着火源となるものを速やかに取り除く。作業の際には必ず保護具を着用する。

(固体の場合) 飛散したものは、速やかに掃き集めて空容器にできるだけ回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。

(液体の場合)

(少量) 漏えいした液は、土砂等に吸着させて空容器に回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。

(多量) 漏えいした液は、土砂等でその流れを止め、土砂等で表面を覆い、放置して冷却固化させた後、掃き集めて空容器にできるだけ回収する。そのあとは多量の水を用いて洗い流す。

この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないように注意する。

#### 出火時

(周辺火災の場合)

速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能の場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。

(着火した場合)

消火剤、水噴霧等を用いる。消火作業の際には必ず保護具を着用する。

(消火剤)

水、粉末、泡(アルコール泡)、二酸化炭素

#### 暴露・接触時

人体に対する影響

(吸入した場合)

倦怠感、おう吐等の症状を起こすことがある。

(皮膚に触れた場合)

皮膚からも吸収され、吸入した場合と同様の中毒症状を起こす。皮膚を刺激し、激しいやけど(薬傷)を起こすことがある。皮膚に付着した直後には異常がなくても数分後に痛み、やけど(薬傷)を起こすことがある。

(眼に入った場合)

粘膜を刺激して炎症を起こす。

医師の処置を受けるまでの救急方法

(吸入した場合)

直ちに患者を毛布等にくるんで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移す。呼吸困難又は呼吸が停止しているときは直ちに人工呼吸を行う。鼻やのどに刺激があるときは、うがいを行う。

(皮膚に触れた場合)

直ちに汚染された衣服やくつを脱がせる。直ちに付着又は接触部を石けん水又は多量の水で十分に洗い流す。

(眼に入った場合)

直ちに多量の水で15分間以上洗い流す。

### 注意事項

-----

### 保護具

保護眼鏡、保護手袋、保護長ぐつ、保護衣、有機ガス用防毒マスク